

注意報

令和2年7月31日
奈良県病害虫防除所長

令和2年度病害虫発生予察注意報第2号

病害虫名 トビイロウンカ
作物名 水稲

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 8～10月
3. 発生程度 多い
4. 注意報発表の根拠
 - (1) 農業研究開発センター（桜井市池之内）の誘殺灯に6月5半旬以降、断続的な誘殺が見られ、平年より1ヶ月程度飛来が早く、誘殺量も多いです。
 - (2) 7月下旬の巡回調査では水田のスパーピング調査で成虫が捕獲され、発生ほ場率5.9%と多い発生です。
 - (3) 7月下旬の時点では、株の黄化など坪枯れの前兆症状は認められていません。しかし、昨年度同様に誘殺開始が平年より約1世代分早く、発生量も多いです。梅雨明け後には本種の増殖に適した条件になると予想されますので、8月以降の坪枯れ発生が警戒されます。
5. 防除上の注意事項
 - (1) ほ場全体を見渡して、坪枯れ前兆となる黄化が認められた場合は、その部分の寄生の有無を確認します。黄化が認められない場合は株元への寄生の有無を観察します。同一圃場でも発生に偏りがあるので、ほ場全体を広く観察して、発生状況を把握します。防除の目安は1株あたり成幼虫が1頭以上です。
 - (2) 薬剤散布時は株元まで薬剤が届くよう丁寧に行います。中山間の早生水稲は収穫期が近いので、ラベルを確認して収穫前使用日数や使用回数を遵守します。
 - (3) 薬剤散布時には、ほ場周辺への薬剤飛散防止に努めます。風の強い日には散布を控え、風向きに注意し、収穫期に近い作物へ飛散しないようにするなど基本事項を徹底します。粉剤散布にあたっては特に注意が必要です。
 - (4) 収穫適期の範囲内で早めに収穫します。

表 トビイロウンカの主な防除薬剤

薬剤名	IRACコード	希釈倍数 または使用量	収穫前 使用期間	使用回数
キラップフロアブル	2B	1000～2000倍	14日前まで	2回以内
トレボン EW	3A	1000倍	14日前まで	3回以内
MR. ジョーカーEW	3A	2000倍	14日前まで	2回以内
スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	4A	3000倍	7日前まで	3回以内
スタークル/アルバリン 粒剤	4A	3kg/10a	7日前まで	3回以内
スタークル豆つぶ	4A	250～500g /10a	7日前まで	3回以内
エクシードフロアブル	4C	2000倍	7日前まで	3回以内

※令和2年7月27日現在の登録状況です。

お問い合わせは

奈良県病害虫防除所

TEL. 0744-47-4481

その他関連情報は以下をご覧ください

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/nara/>

奈良県農業情報システム（農作物病害虫・雑草防除指導指針）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/nara>